

栗国診療所

医師 大田瑞生



海の危険生物の話

10月に入ってから、急に気温が下がってきたように感じますが皆さんは体調を崩したりはしていないでしょうか？

夏が過ぎて季節外れになりつつある気がしますが、今回は海の危険生物の話です。今年は海で大怪我をされる方がいなくて一安心しています。来年も安全に過ごせるように、一度危険生物のポスターなども見てみてください。

さて、皆さんは海洋生物で危険なものと言われて何を思い浮かべますか？クラゲ、ガンガゼ、オニヒトデ、ウミヘビ、ヒョウモンダコ、ミノカサゴ・・・いくつ思い浮かぶでしょうか？刺された（噛まれた）場合にくっついている原因生物を取り除くという対応になるのは共通です。基本的には刺された場所は冷やしたほうが良いとされていますが、中には温めたほうが良い、と言われていたものもありなかなか判断が難しいと思います。

その中でも多く発生するのはクラゲ、特にハブクラゲの刺傷になります。ハブクラゲに刺されたら酢をかけたほうが良い、という話は聞いたことがある方もいるのではないのでしょうか。実はこれもハブクラゲ限定の話なのです。同じく海の危険生物に入っているカツオノエボシというクラゲやイソギンチャクの触手、これらに酢をかけると逆に毒針が飛び出して来るので危険です！何に刺されたかわからなければ海水で洗い流すと間違いはないでしょう。

危険生物によって対応が変わることがあるので、何に刺されたのかが分かるとその後の対応がしやすいことがあります。もちろん一番大事なのは危険生物から離れることですが、もしどこで何に刺されたのかわかれば診察を受ける際には教えて下さい。そのためにもポスターで見た目を知っていただくと助かります。

地域おこし協力隊だより

“栗国村地域おこし協力隊就任”

初めまして！令和6年10月1日から栗国村地域おこし協力隊に就任致しました四方絢子です。勤務先は『とび吉』になります。特産品の開発等をし、栗国島を盛り上げご協力が出来ればと思います。わからない事ばかりなので、皆さんとたくさん交流し、ご迷惑おかけすることもたくさんあると思いますが、どんどん島の事を吸収していきたいと思っています。「人生いつ何が起こるか分からないから後悔しない人生を送る！」精神で出合いを大切に全力で精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します！

- ◆氏名：四方 絢子（しかた あやこ）
- ◆生年月日：昭和62年10月20日（36歳）
- ◆出身地：千葉県柏市
- ◆職歴：日本酒専門酒屋、海鮮居酒屋、貝料理専門店、カウンター7席のみの居酒屋を1人で運営等、様々な経験を積んできました。
- ◆趣味：御神輿担ぎ、山菜採り、きのこ狩り



（地域おこし協力隊 四方絢子）